

クラブテーマ：「親睦を原点に」

2020-2021 年度会長 市川清貴

2020-2021 年度 R I のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。
また 2700 地区テーマは“日本のロータリー100 周年「新しいロータリーは機械の扉を開く」”です。
常設委員会の設置など当年度は少し編成を変えてクラブを活性化することを目指しています。

今年度私が掲げるクラブテーマは「親睦を原点に」です。1905 年ポールハリスが立ちあげたロータリーの原点の一つは「親睦」であったと思います。昨年末から世界中で発生したコロナによるパンデミックは、ややもすると人を排他的な存在にしかねない側面を持っています。このような場面に皆で立ち向かうために必要なことは「親睦を原点」とした人を思いやる心だと思います。そのようなテーマで今年度の運営を以下のように考えました。

1. クラブの活性化

①原点は親睦・・・例会、テーブル会、同好会などを通じて親睦を深める。夜間例会の回数を増やし開催曜日や内容を工夫し、楽しい親睦の場になるようにする。

↓

②ロータリーの目的の情報・意識の共有・・・クラブの委員会活動や地区イベントの参加。

↓

③奉仕の意識・経験・・・「奉仕」の呼びかけ、奉仕活動への参加

↓

④親睦の機会を重ねた、より強い絆

この流れを繰り返しながら活動を活性化する。

2. 委員会組織の改編

①目的はクラブの活性化・・・これまでの委員会を6つの常設委員会でくくり、地区とのチャンネルを合わせ情報、研修の流れをスムーズにする。また当クラブの独自の委員会は会内委員会として存続、活性化する。

常設委員会内に内包される各委員会が相互に協力できる体制を作る。

②クラブの魅力向上・・・例会や親睦イベント、奉仕イベントなどの新たな切り口検討する。

③活性化継続性の確保・・・長期計画委員会による活性化のプログラム検討、会員増強や退会防止、継続すべき事項の推進を図る。

3. 今年度1年のこと

さらに楽しいクラブになるよう、皆様のご意見やご協力を頂き努力していきたいと思います。